

一宮川流域における 取り組みについて

平成22年2月10日(水)
一宮川流域委員会事務局

目 次

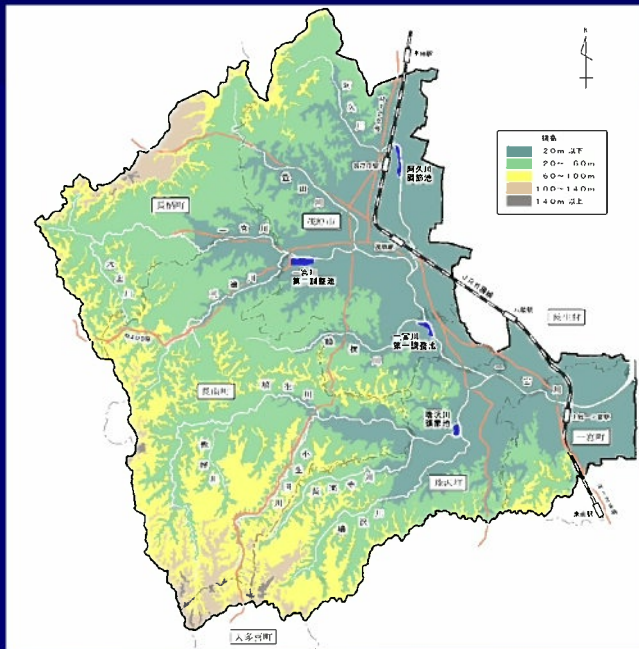
1. 流域委員会開催の背景・目的	3
(1) 一宮川流域の概要	
(2) 河川整備に向けた動き	
2. 阿久川上流の整備計画区間への追加について	11
(1) 対象区間の概要	
(2) 今後の対応	
3. 地域活動の支援について	15
(1) 地域活動の現状	
(2) 現状の地域活動に対する評価と課題	
(3) 地域活動の支援の事例	
4. 環境調査結果の報告について	21
(1) 調査の目的	
(2) 調査結果	

1. 流域委員会開催の背景・目的

(1) 一宮川流域の概要

a. 流域面積等

- ①流域面積
 - ・約203km²
- ②幹線流路長
 - ・約37km
- ③水系内の主な河川
 - ・一宮川、三途川、
豊田川、阿久川、
鶴枝川、瑞沢川、
など



一宮川は長柄町刑部にその源を発し、茂原市市街地で三途川、豊田川、阿久川、鶴枝川を合わせ、その後最大の支川である瑞沢川を合流し、長生村の九十九里海岸で太平洋に注ぐ、流域面積約203km²、幹線流路長約37kmの二級河川です。

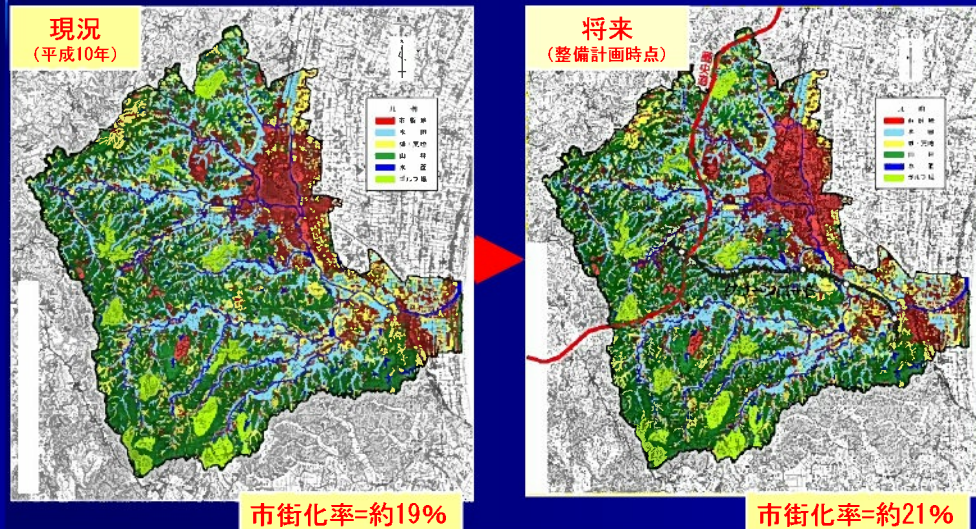
流域は、長南町、長柄町、茂原市、睦沢町、一宮町、長生村の六市町村にまたがり、長生地域の社会・経済・文化の基盤をなしています。

また、豊かな緑に恵まれ、古くから人々の生活を支え文化を育んでおり、本水系の治水・利水・環境についての意義は大きい。

1. 流域委員会開催の背景・目的

(1) 一宮川流域の概要

b. 土地利用



流域の土地利用は、昭和45年の時点では茂原市と一宮町の一部が市街化されているだけでした。

昭和50年代以降、JR外房線の複線化などによって千葉市並びに首都東京への通勤圏内となったことから、茂原市を中心に宅地開発、工業団地等の開発が進み、平成10年時点では市街化率が19%になっています。

平成24年度には首都圏中央連絡自動車道（圏央道）の開通が予定されており、今後上流域の市街化が予想されます。

1. 流域委員会開催の背景・目的

(1) 一宮川流域の概要

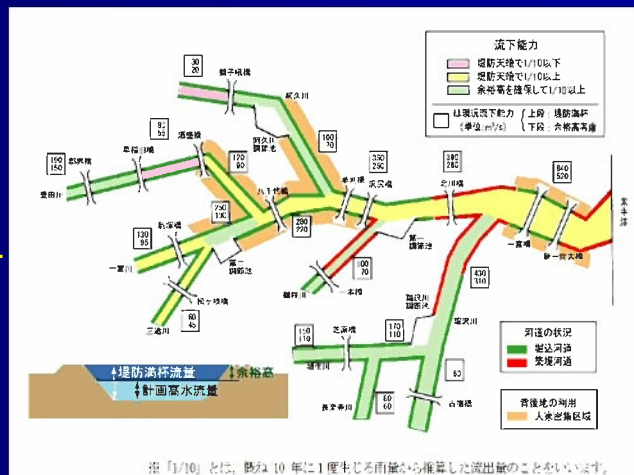
c. 河川の整備状況（現況流下能力）

① 堤防天端で1/10以下の箇所

- ・ 阿久川
（獅子吼橋上流）
- ・ 豊田川
（酒盛橋～早稲田橋）

② 堤防天端で1/10以上の箇所

- ・ 一宮川本川など



現況の流下能力は、激特事業の完了に伴って、一宮川河口から三途川合流点までは概ね堤防天端の高さ満杯で、概ね10年に1度生じる洪水流量を流せる整備を完了しております。

しかし、阿久川（獅子吼橋上流）などでは堤防天端の高さ満杯でも、概ね10年に1度生じる洪水流量を流せない区間が一部に存在します。

1. 流域委員会開催の背景・目的

(1)一宮川流域の概要 d. 過去の浸水状況



平成8年9月22日洪水の浸水区域



平成8年9月22日洪水（台風17号） 茂原市内



平成8年9月22日洪水 中之橋石岸（一宮町一宮）

発生年月日	起因	浸水面積 (ha)	浸水家屋戸数(戸)			流域平均雨量(mm)	
			床上	床下	合計	時間最大	総雨量
昭和45年 7月 1日	台風2号	913	113	180	293	42(生野)	205(生野)
昭和45年 9月 6日	台風25号	391	214	197	411	59	306
昭和46年 12月 24日	集中豪雨	480	75	484	559	63	186
平成元年 8月 1日	台風12号	614	758	1,702	2,460	38	238
平成7年 9月17日	台風12号	254			457	33	320
平成8年 9月22日	台風17号	1,260	1,118	1,476	2,594	43	307

資料：平賀島の河川、一宮川改修事業関係資料、一宮川改修工事とは関係、水害統計

浸水被害の早期解消に対する地域住民などから、河川整備の要望が強まる。

一宮川流域においては、これまでも度々浸水被害を受けています。

特に、平成元年8月洪水（総雨量238mm）では、浸水面積614ha、浸水家屋2,460戸の甚大な被害を受けました。

また、平成8年9月洪水（総雨量307mm）は、平成元年洪水を上回る浸水面積1,260ha浸水家屋2,594戸に達しました。

そのため、地域住民からは浸水被害の早期解消の強い要望が出されています。

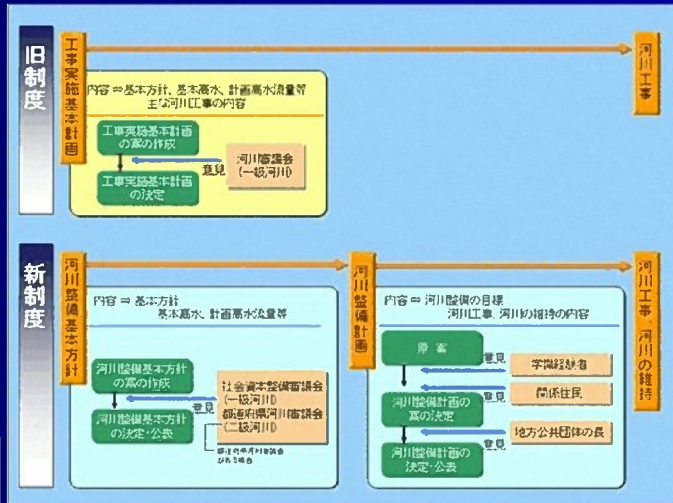
1. 流域委員会開催の背景・目的

(2) 河川整備に向けた動き

a. 改正に伴う河川工事までの手続きの変更

- ① 工事实施基本計画から、河川整備基本方針・河川整備計画へ変更
- ② 河川整備計画策定時に、学識経験者・関係住民・地方公共団体の長の意見を反映

流域毎に委員会を開催し、意見を聞き取る。



改正に伴う河川工事までの手続きとしては、旧制度では工事实施基本計画を定め、その後河川工事を行っていました。

新制度では、中長期的（約50年）な視点で河川整備基本方針を定めるとともに、比較的短期間での整備箇所と内容を明示した河川整備計画を学識経験者や地域住民の意見を反映させて作成し、河川工事を行うように変更となりました。

千葉県では、流域委員会でこれを行っています。

1. 流域委員会開催の背景・経緯

(2) 河川整備に向けた動き

b. 一宮川流域委員会の開催状況

開催回数	委員会開催日	議 題
第 1 回	平成13年7月16日	(1) 整備計画策定フロー (2) 一宮川の現状と課題
第 2 回	平成14年3月26日	(1) 第 1 回委員会における発言要旨 (2) 河川整備計画（案）について (3) 今後の委員会の予定について
第 3 回	平成15年3月24日	(1) 第 2 回委員会における意見について (2) 意見交換会開催結果について (3) 河川整備計画に定める事項について
第 4 回	平成16年1月23日	(1) 第 3 回委員会における意見について (2) 河川整備計画（素案）について (3) 事業評価について（広域河川改修事業）

河川整備計画（素案）の決定

その後4回の開催

これまで、事業の実施状況の報告や事業の継続性・河川整備計画（素案）に対する審議を目的として、計 8 回の流域委員会が開催されている。

一宮川では、これまで事業の実施状況の報告や事業の継続性に対する審議等を目的として、計 8 回の流域委員会が開催されています。

特に、第4回の流域委員会では比較的短期間（約 20年間）に行う整備区間と内容を明示した河川整備計画（素案）が承認されました。

1. 流域委員会開催の背景・目的

(2) 河川整備に向けた動き

c. 一宮川流域河川整備計画の概要



今後20年の間で河川整備を行う区間を明示

①治水の目標

- 現在の河川の整備状況を踏まえ、流域の経済・社会活動の中心となっている茂原市や一宮町の中心部について、河川からの氾濫を防止し、浸水被害の軽減を図ることとします。
- 目標とする計画規模は、近年、大規模な浸水被害が発生した平成8年9月洪水相当とします。
- 河口部では高潮による浸水被害の防止を図ります。

②利水の目標

- 現在の平常時の流況を保持できるように監視していきます。
- 流水の正常な機能の維持に必要な流量は、動植物の生息環境の実態を把握し関係機関と調整の上、今後も引き続き検討していきます。
- 河川空間の一部は自転車道や公園として利用されており、今後とも適正な利用増進を図ります。また、観光船の運航にも支援していきます。

③環境の目標

- 河川の整備においては、周辺の自然環境に配慮するとともに、動植物の生育と生息環境の確保に努めます。また、生物の多様な生息・生育環境の保全・回復に努めます。
- 水質の保全については、環境基準の達成を目標に地域との連携を図ります。
- 良好な自然環境を保全・創出することにより、快適で心安らぐ生活環境を創り出すことに努めます。

一宮川流域河川整備計画では、今後約20年で治水・利水・環境の目標を達成しながら、以下の区間を河川整備を行うこととします。

河道改修①：河口～瑞沢川合流点（一宮川）

河道改修②：東橋～八千代橋（一宮川）

河道改修③：合流点～酒盛橋（豊田川）

河道改修④：古宿橋～女ヶ堰（瑞沢川）

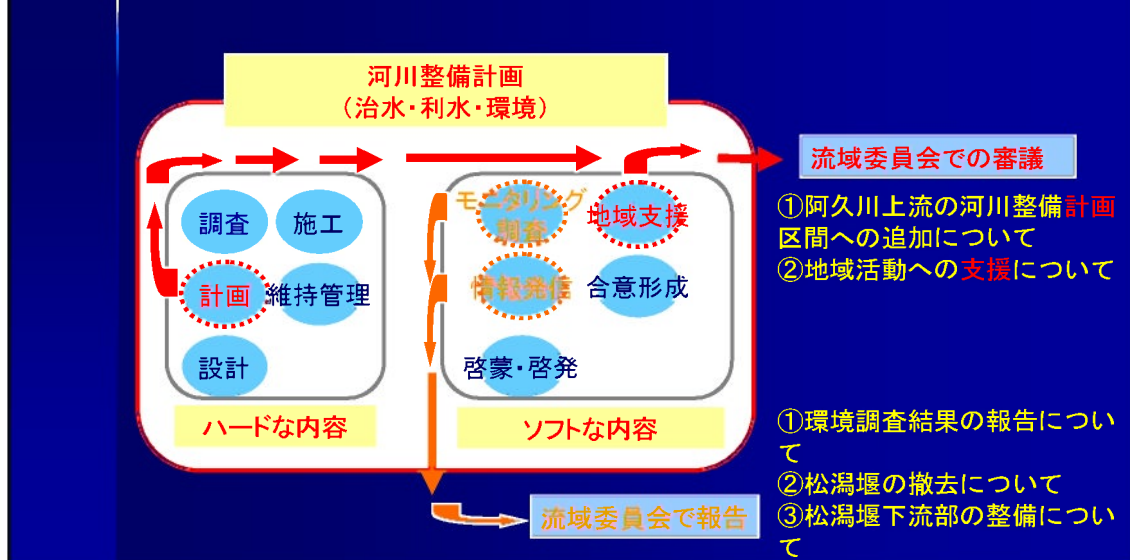
河道改修⑤：（長楽寺川）

河道改修⑥：合流点～鶴枝橋上流（鶴枝川）

1. 流域委員会開催の背景・目的

(2) 河川整備に向けた動き

d. 第9回の流域委員会開催の目的



今回の第9回の流域委員会では、次を示す二つの内容についてご審議を願います。

- ① 阿久川上流の河川整備計画区間への追加について
- ② 地域活動への支援について

です。